

教育長日記 (令和3年 3月 15日)

青い空に浮かぶ 白い雲 164

— 子どもを思う校長たち —

東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

(今日の言葉) われ人に勝つ道<sup>やぎゅうむねのり</sup>を知らず われに勝つ道を知る (柳生宗矩)  
他人と勝負することを考えるより、まず自分と戦って勝たなければならない

学校だよりから

学 校	学校だよりから (◆)は題
第一小 濱脇 哲也 校長	◆ 新しいステージに向かって 最後まで気を緩めず対応していきたい/子供たちが真剣に取り組んでいる姿をご覧ください
第二小 伊藤 誠治 校長	◆ 新たなスタートへ 「積極的に変えていくこと」、「今までのよさを大切に継続すること」とを見極めながら
第三小 雨宮 敏彦 校長	◆ 当たり前は、ありがたい(有難い)こと 例年以上に保護者、地域の皆様に支えられた一年、引き続き、安全・安心を第一に
第四小 横尾 康幸 校長	◆ 何事も土台が大事 「ちょっとした我慢ができること」 小さいことの積み重ねがやがて自信につながって
第五小 加藤 進 校長	◆ 五小水族館 (ハコフグ & 続 サケの赤ちゃん) 時には授業中にもジッと魚を見ている子もいます。…少しでも心を癒せる場であって
第六小 関 雅人 校長	◆ 一年間、ありがとうございました 「社会で通用する力」の一つに、正しい言葉遣いがあげられます。二度、三度の経験を経て
第七小 大桃 昌博 校長	◆ 弥生、3月を迎えて 最後は屋上にて「星空観察会」/ この七小を一つのふるさととして心に刻んでくれたらと
第八小 吉行 一敏 校長	◆ 目標キーワード 地域、保護者の皆様にご協力を頂き、学校と一緒に子供たちをよりよく育てていきたい
第九小 小須田 哲史 校長	◆ コロナ下の1年を終えて 『子供も家庭も地域も学校も「WIN-WIN」を目指して/WINを感じた1年だった
第十小 澤崎 彰一 校長	◆ 震災の教訓を生かして 記憶や教訓を風化させてはなりません。学んだことを子供たちにしっかりと伝えていきたい
第一中 石井 和光 校長	◆ 学校生活アンケートから 回収率は86%で昨年を20%上回り 表面化した問題には数字だけにとらわれることなく
第二中 小野 隆一 校長	◆ 教育目標(6つの資質・能力)達成度 協働・主体性・達成志向・自己管理・ストレスコントロール・情報活用 育成を目指す
第三中 久森 信 校長	◆ 1年間のご支援・ご協力ありがとうございました 4月からは「学びに向かう力・人間性」「生きて働く知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」
第四中 住吉 豊 校長	◆ 今年度も残すところ、三年生15日・・・、 先日の夜遅くに起きた地震 / 3学期の学校運営協議会 緊急事態宣言を踏まえ紙上開催
第五中 和田 孝 校長	◆ 逆風 逆風の時こそ自分を高められる機会でもある。乗り越えた自分を思い浮かべましょう。



世界が見える  
やる気が見える

さあ顔をあげよう  
顔をあげると遠くが見える、その先も見える

校長先生から学び、先生たちから多くを学び、担任の先生からは毎日毎日学び、さらに学習材料や環境整備などを整えてくれた方たちからも学び育ってきた児童と生徒たち。

国語や算数など、教科書の内容を学び、多くの人から生き方を学び、人としての学びを身に付けて卒業していく子どもたち。

その学校の  
全課程を学び  
終えること

卒業